



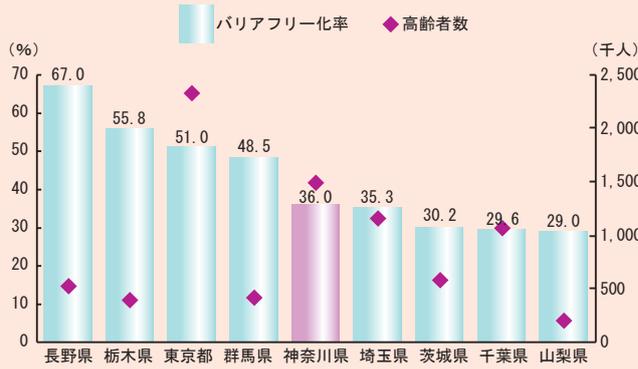
安全・快適らくらく歩行空間

- 指標 4-1 バリアフリー化率
- 指標 4-2 無電柱化計画延長に対する無電柱化率
- 指標 4-3 緊急対策踏切数

歩行者に優しい歩きやすい道づくり

■ 高齢化などに備えたバリアフリー

高齢者が多い神奈川県では、バリアフリー対策が求められています。



関東地域のバリアフリー化率
資料：平成18年度道路行政の達成度報告書
平成19年度道路行政の業績計画書(国土交通省)

■ 無電柱化率は関東甲信で3位

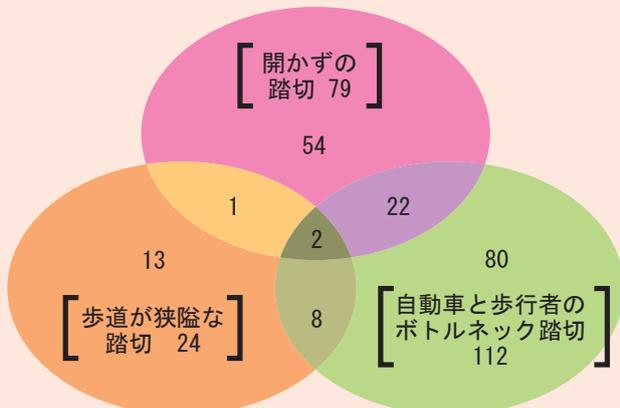
神奈川県の無電柱化率は11.7%で依然として低い状況にあります。快適な歩行空間の確保が必要です。



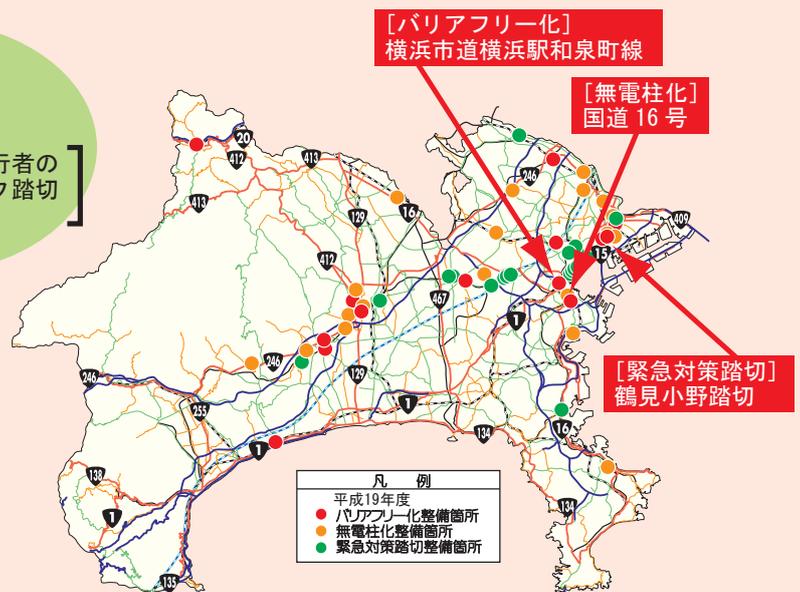
関東地域の無電柱化率
資料：平成18年度道路行政の達成度報告書
平成19年度道路行政の業績計画書(国土交通省)

■ 緊急対策を要する踏切は180箇所

交通渋滞や踏切事故など、緊急対策が必要な踏切が多く存在しています。



神奈川県内の緊急対策踏切内訳
資料：国土交通省資料



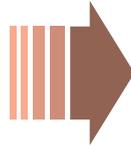
平成19年のバリアフリー化、無電柱化、緊急対策踏切実施箇所
資料：神奈川県道路協議会

事業例

1 【無電柱化】電線類を地中化し、景観に優れた歩行空間の確保
国道16号(横浜市保土ヶ谷区)



【整備前】



【整備後】

出典:国土交通省

事業例

2 【バリアフリー化】段差を解消し、視覚障害者誘導用ブロックを敷設
横浜駅周辺地区 市道横浜駅泉町線(横浜市西区)



【整備前】



【整備後】

出典:横浜市

事業例

3 【緊急対策踏切】構造改良により歩行者と自動車を分離
横浜市道 JR東日本鶴見線 鶴見小野踏切(横浜市鶴見区)



【整備前】



【整備後】

出典:横浜市



バリアフリー化率は16%向上、無電柱化率は4%向上、緊急対策踏切は19箇所減

平成19年度の達成度評価

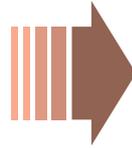
成果指標	H18年度現況値	H19年度目標値	H19年度実績値
4-1. バリアフリー化率 [H15年度現況値: 13%]	33%	48% 【15%向上】	49% 【16%向上】
4-2. 無電柱化計画延長に 対する無電柱化率 [H15年度現況値: 75%]	77%	79% 【2%向上】	81% 【4%向上】
4-3. 緊急対策踏切数 [H17年度現況値: 117箇所]	114箇所	92箇所 【22箇所削減】	92箇所 【22箇所削減】

平成16年度実施事業

【無電柱化】無電柱化により快適な歩行空間が形成(三ツ沢地区 国道1号【横浜市】)



【整備前】



【整備後】

出典：国土交通省

平成18年度実施事業

【バリアフリー化】電柱撤去、歩道の段差解消(関内駅周辺地区 市道新港第39号線【横浜市】)



【整備前】



【整備後】

出典：国土交通省

平成18年度実施事業

【緊急対策踏切】カラー舗装により歩行者と自動車を分離(市道四季美台第275号 相模鉄道 鶴ヶ峰10号踏切【横浜市】)



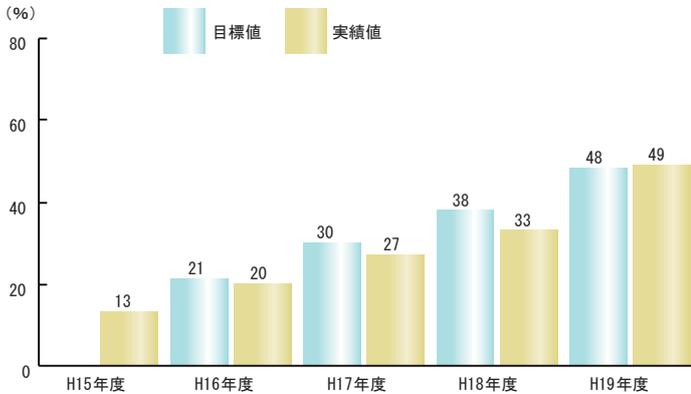
【整備前】



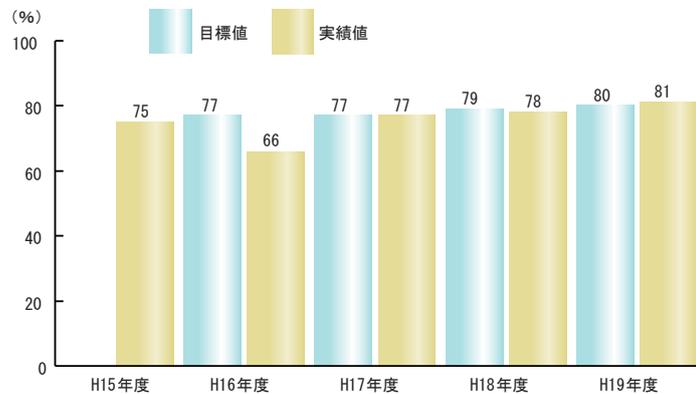
【整備後】

出典：横浜市

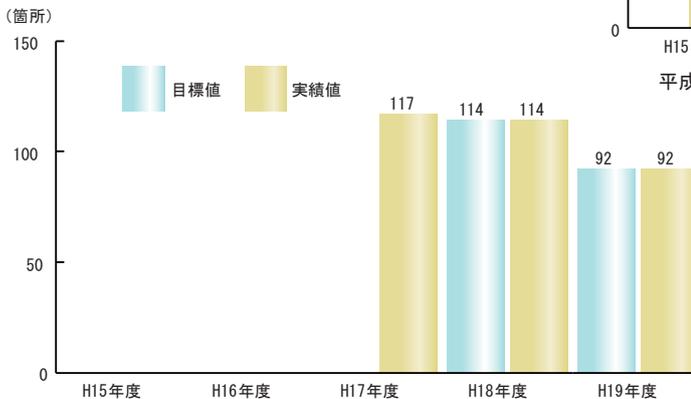
安全な歩行空間の整備が着実に推進



平成15年度からのバリアフリー化率の推移
資料：神奈川県道路協議会資料



平成15年度からの無電柱化計画延長に対する無電柱化率の推移
資料：神奈川県道路協議会資料



平成15年度からの緊急対策踏切数の推移
資料：神奈川県道路協議会資料

平成15年度から

- ・バリアフリー化率は**30%向上**
- ・無電柱化率は**6%向上**
- ・緊急対策踏切数は**25箇所減少**

平成16年度からの達成度評価

成果指標		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
4-1. バリアフリー化率 単位：%	目標値	-	21	30	38	48
	実績値	13	20	27	33	49
4-2. 無電柱化計画延長に 対する無電柱化率 単位：%	目標値	-	77	77	79	79
	実績値	75	66	77	77	81
4-3. 緊急対策踏切数 単位：箇所	目標値	-	-	-	114	92
	実績値	-	-	117	114	92